

実施日 2021年7月24日～25日（競泳） 7月27日（飛込）

事業名 第68回岩手県中学校総合体育大会水泳競技

記載者 岩手県中学校体育連盟水泳専門部 委員長 加藤 泰

事業内容や結果

新型コロナウイルス感染症予防のため昨年度は中止となり、2年ぶりの開催となりました。しかし、完全に新型コロナウイルスがおさまっていない中での開催ということで、出場選手数を例年の4分の3ほどに絞っての縮小開催となりました。その他の対策として、日程については午前女子、午後男子の競技を行い、会場内の人数を250名程度となるようにし、すべてタイムレース決勝としました。

出場者数に関しては、64校の中学校が出場し、参加選手は

競泳競技：男子154名、女子147名、計301名の出場。

飛込競技：女子3名

の出場でした。飛込競技に複数名の選手が出場することは岩手県中総体で初めてのことです。また、出場者の中には盛岡聴覚支援学校の選手がおりました。ぜひ、来年も出場してほしいと願っています。

記録については

競泳競技の発生新記録は岩手新1、県中新3、大会新3、

全国中学標準記録突破者は競泳競技で2名4種目でした。

東北中学へは標準記録突破者のみの出場となり、例年より少ない参加人数となります。全国、東北大会ともに本県参加選手の活躍を期待しております。

反省や今後の課題

年々、中学校における水泳部の数が減少傾向にあります。少子化に伴い、中学生の減少はもちろん、学校でスタート練習ができない、学校プールの運営上の問題等、様々な要因があります。そのような状況の中で、毎年、初めて水泳競技に参加しますという監督の先生方が多くなっています。大会に向けて、頑張っている選手がいる反面、学校の状況の変化ということにも対応しなければならず毎年工夫をしながら大会を運営しています。

それにはそれにしても、今年度の大会は最初で最後の実施方法であることを祈っていますし、来年度は、現在よりも新型コロナウイルス感染症の状況が落ち着き、観客席に一般の観覧の方々があふれ、たくさんの応援の音が響く中で大会運営をしたいと願っています。